

# 磐城時報

日七  
印刷所 加納活版所  
印刷部 加納活版所  
發行所 磐城時報社  
一部金貳圓 一月金拾圓  
廣告料 一行十二字五錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 山田文一氏事件で 更に二三名留置 須賀川牡丹園の關係か

平町仲山田文一氏事件は更に六日には山田方店員内その後平署警務部補以下藤七郎が召喚留置された外司法部總動員で各方面に調須賀川町から山田武、宮下奎の手を延べ既に金澤四郎勇二の兩名を召喚して取調は平刑務所に収容され土地へを行つてゐるが、須賀川部加藤重藏の外半谷祥重、町牡丹園買収に關聯する何野野和市の三名は平署に留置等が問題らしく成行極め置して取調べられてゐる。て重大視されてゐる。

## 植田校講堂 竣功祝賀會

### 來賓三百余名臨席 古川町長の式辭

植田町小學校校舎並に講堂増、新築落成式は六日午前十時から講堂に於て地方有志三百余名を招待して舉行された。神官によつて奉告祭を行つた後落成式に入り国歌合唱、勸語捧讀、古川町長の式辭、篤町議の工事報告等の後功勞者に感謝状を贈り學務部長以下十數名の祝辭等があつて式を終り祝賀の宴を開いた。

並に講堂の増新築の工を竣へ本日茲に落成式を舉ぐるに方りましては多數來賓を迎へ此の歡を共に致しますことは本職の尤も光榮とする所でありま。本校落成の規模取て小なるものではないのでありますけれども逐年就學児童數の増加に伴ひまして漸く狹隘を感じ之れが増築の必要に迫られて居りました折柄多年要望致して居りました講堂新築をも共にすべきである。と考へまして儀を本町々會に求めますや直ちに

## 石炭液化工場を 小名濱町に設置

### 連沼縣議が提案

縣會議員連沼龍輔氏から四日の本縣會へ緊急建議案として提出された「石炭液化燃料工場を小名濱港附近へ設置の件」は讀會及び委員會を省略し滿場一致を以て採擇に決した。連沼氏の提案理由説明によると。

我重要國策の一に燃料問題の確立がある、この燃料國策の核心をなすものは石炭液化の外にはない。然るに燃料問題は一朝有事に處しての準備と見られるも、その際には論議の余地なく、むしろ平時においてこそ石油の自給自足を圖ることが實に至大なる經濟問題なりとし、今回國營燃料研究所及び帝國燃料工業會の設立を見るに至つた所以である。

國民知識の啓培は國家隆濟の大本でありまして教育の向上刷新は其の機關設備の充實整備にあることば謂ふまでもないものであります。

## 巡查を毆る 加害者一名逃走

小名濱町古港三代義勝方漁尺八の三曲が入り其の他女夫市田政春(二)同比佐勇流大家綾菊嬢、郡山市天狗方谷津田正夫(二)三橋本連の出演などもあり頗る期馬に上り其の使命達成の上一段の飛躍を見んとす。このは本町教育の前途期して深々信するものあり。黄くは本校の職員並に生徒諸子益々精進し國民教育の實を擧げ上聖明に對へ奉る。共に本校の名譽を發揮せられんことを切望してやまぬものであります。

重三郎外二名の一團と喧嘩を始めたので駐在巡查渡邊孝治氏が取り解めんとし現場に駆けつけた處市田等の一味三名は生意氣だど巡查に喰つてかゝり下駄で殴り全治三週間の重傷を負はせ逃走したので西條警部補等が犯人搜索の結果同夜中に市田、谷津田の兩名を捕えたが菊地は逃走したので行衛捜索中である。

## 産業道路 點燈運動

小名濱町古港から築港港内魚市場へ通ずる産業道路に二年前關係者が寄附して照明設備を施したが十一月限りで寄附金がなくなつたため再び暗黒となり蠟燭最盛期の折柄トラック、荷馬車の往來に極めて危険な状態を呈するに至つた。電燈料は二ヶ年に百八圓であり關係者は狼狽して寄附金募集に着手した。

## 明年度の 就學兒童

昭和十二年年度就學兒童は平町役場で調査した處によると左の如くである。

第一校	103	男女	計
第二校	196	男女	203
第三校	155	男女	163
第五校	215	男女	238

## 若い娘 ネコ自殺をなす

内郷村消防組の秋季檢閲は六日午前八時から平警察署臨檢のもとに金坂グラウンに於て舉行されたが八十名の組員緊張裡に集合、規は一昨五日午後八時半頃自警署署先懇篤なる指導に當り機械器具検査並びに取扱ひ、救急操作、水勢試験等遺憾なき非常時消防組員の訓練と覺悟の檢閲を終り時頃絶命したが原因は永ら判明した。

## 狂人に 平署手古摺る

安達郡針道村生れ宗像陽之助(四二)は米澤商工出身だと自稱してゐる狂人で六日平町本町通りを騒ぎ廻つてゐるので平署員が押え留置場にプチ込ませたところ、留置場は吾輩の望む所だ」と大威張りなので署員も手古摺つてゐる。

## 自動車妨害 酒をのんで

内郷村小島日雇業飯島勝次(四五)は酒を飲むと自動車に妨害する癖の悪い男で六日泥酔して碓附近で威張つてゐる處を平署員に檢束された。

## 朽橋梁 應急工事

平土木監督所管内三阪一平川前、玉川湯本の三線縣道にかゝる橋梁十ヶ所は何れも腐朽甚だしいので小林所長は此程出縣土木課と打合せの上之が應急工事費千六百圓で近く着工することになった。

## 鹿島村 組頭歡送迎

鹿島村では五日秋期消防檢閱後鈴木一男(新佐藤米治)元組頭の歡送迎會を開き十數年間勤続の元組頭佐藤氏に對し役場から百圓消防組から五十圓を贈つた。

## 縣營砂防工事 磐崎村白鳥内縣營砂防工事

は工費五千圓で竣功した。

## 聚樂館で競演會

平町素人義大夫の天狗連若に於て開催されるが、殊に葉會競演會は来る十二月八今回の語り物中門傳錦清の同署長の好評を得て午後一時半終了した。

## 義大夫天狗連

聚樂館で競演會

## 泉村 農産品評會

泉村農會主催の農産物品評會は五、六兩日開いたが、入賞者左の如し。

一等俵米下遠野武、大豆江尻義平、大根江尻勇、葱田子イチ、盆裁鈴木政吉、二等俵米坂本薰外十名、三等佐藤彌吉外二十一名、四等下遠野豊次外二十七名。

平 驛 前

# 昭和タクシー

電話 三四三番  
三四〇番

## 料理部新築

### 五週年記念パーティ

忘 年 會  
新 年 會

費 會 金一圓五十錢

(御料理、御酒、藝妓共)  
料理人、女中、番頭多数揃へて  
御客様にサービス致します。

平 町 住吉屋本店  
電話一五九番

## 火災保険

平町役場  
平消防組

推薦 料金安ク  
確實ナル

### 日本共立火災保険株式會社

一、保険料(平町ノ理想トスル)  
金壹千圓ニ付金七圓也(建物モ動産モ同率)  
一、當會社ハ英米二十數個ノ大會社ニ再保險ノ特約アリ  
如何ナル巨額ノ支拂モ容易迅速ナリ

平聯合代理店

五 町 日電六六番 井上貞治郎  
住吉屋本店内 電一五九番 石田吉五郎  
紺 屋 町 電四七六番 吉田寅之輔  
二町日關内 電一六六番 阿部助次郎  
南町玉よし 電四二六番 鈴木長三郎

# かまぼく

## 折詰仕出し

お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目

# 平製氷會社

電話 一四一番

## 干やなぎの御注文は

# 是非 仙魚店

美味：体裁優美は  
當店のモットーです

鰹節・塩辛  
鮮魚仕出し

# 丸仙

電六六二番

## 洗ッテモ縮マヌシャツ

新柄婦人シヨール

殿方用縮双毛シャツ  
¥2.50.....3.30

婦人シヨール  
本ラクダ ¥7.50...9.50  
新 柄 ¥1.50.....

# ヤルツ

電 140

## 魚召すから

# ヒール凍魚

鯛 マナ鰹 ワカサギ  
エビ 甘鯛 帆立貝  
白魚 カナ頭 うに貝焼

早水産手特約(電三八三六番)  
平製氷會社  
卸小賣 平製氷會社  
魚屋 魚屋  
電話 五二八番

◎新鮮な冷凍具焼あります

## 七五三祝着

記念寫眞 撮影券付 特賣

友誼縮緬、業平友仙、友仙モス、レイヨン友仙  
御紋付各種、御袴地、おさな帯、仕立丸帯  
金十五圓以上 御買上 合判 三枚組呈上  
金三十圓以上 御買上 キヤビネ  
撮影は十二月二十八日(谷地露真館にて)

平 町 三井吳服店  
電三八・二八四

十二月三日ヨリ七日間  
七五三の福引付大賣出し

歳末贈答品 福引券呈上

◆昂騰前に仕入れた最安値品と  
今冬の珍柄を豊富に取揃へ大提供

金三圓御買上毎に福引券呈上

福引景品(絹布座團五枚、銘仙、新與大島  
歳末贈答用品大提供  
御婚禮花嫁殿方用品賣特

御答には  
これが一番 三井の商品券

## 大型貸切の御相談は

# 尼子タクシー

電話 六四〇番

## 植田町役場

祝 講 堂 落 成

植田尋常高等小學校

町長 古川傳一  
助役 渡邊國之助  
收入役 村松義節  
外吏員一同

## 祖父堅助儀永ラク病氣ノ處

療養不相叶五日午前一時十分  
永眠仕候間此段謹告候也

追テ葬送ノ儀ハ來ル八日午後一時自宅出棺  
菩提院ニ於テ佛式ヲ以ツテ相當ミ可申候  
十二月五日

孫 鈴木新右衛門  
親戚總代 坂本隆藏  
友人總代 青沼鋒太郎

## 松村村科

胃腸病科 泌尿器病科 皮膚病科 花柳病科 性病科

門 專

院醫科 性胃腸村松  
(番七〇一電)町南町平